

あらためて人は群れでなくては生きられない動物だと思ふ2

施設長 松島栄一

私は小学校の3年から4年になるときに、東京の目黒から埼玉の狭山市に引っ越しをしました。そのころの狭山は、とても田舎でトトロの世界に限りなく近い記憶があります。当然のことながら、子供心にもとても不安で、その前後の風景や記憶、初めて学校に行った時の記憶が鮮明に残っており一種の心の傷のように感じているようです。まして自分は活発なほうでもなく、体型も太っていて運動は苦手であったため不安は大きいものがありました。しかし、幸いにしていじめられることもなく、狭山の友達にも受け入れてもらったので、その傷が悪さをすることなく、むしろ成長の糧になったのかなとも思います。同窓会等で友人たちからそのころの思い出を聞けば、「本当は何かしらかまってやろうとも思っていた」とも聞かされまさに紙一重の状況であったと思います。その紙一重が今は容易に超えられてしまっている現状があるのは悲しいことです。

その頃、即ち昭和41年ですが、転校していった学校には、おそらく2学年上に障害のある児童がいました。今から思えば、アテトーゼタイプの麻痺があつて、歩行はどうにかできていましたが、言葉が不自由でよだれも出てしまう様子だったと思います。クラスも学年も違う自分にとっては、近寄りたがたい雰囲気もありました。それでも運動会や行事にはみんなと一緒に参加をしていましたし、毎日のように登校していたように思います。そのころの学校の集団は、よそから来たもの、障害とかの違いを受け入れられる力があつたのだらうと思います。先生が偉かったとか教育課程が良いとか悪いとかという議論もありますが、そもそもは、今よりも子供も大人も人と結んで行ける力があつたからだだと思います。特定な個人の問題ではなく、全体の個人の問題だと思ふのです。つまりそれぞれが、1対1の人間同士が向き合つて、つながっていける力が今より少しあつたのではないのでしょうか。そこが紙一重を超えない事になっていたのでしょうか。そしてその力は人と向き合いコミュニケーションをとり、失敗もするが、成功もするそうした経験の量と、失敗しても取り戻せる安心感があつてこそだと思ふのです。その源はまずは、親子、家族の関係からだと思ふます。そして、人とどれだけ沢山のコミュニケーションを取ってきたかの量の問題かなと思ふわけです。量が不足しすぎているのではないかなと思ふます。最初からうまくいくはずありません。失敗や経験を積みながら人との付き合い方を学んでいくわけで、とりわけ、失敗してもいい児童期の量が足りないのだと思ふます。

人とかかわる力も自信もない場合、関わらないほうが楽だと思ふわけですが、人間の場合それでいいとは思えず、寂しさという感情とともにやはりつながりを求めて、じたばたしてしまうのでしょうか。いじめることも虐待をしてしまうことも、つながりを求めたい「じたばた」の一つだと思ふてなりません。極論ですが…。

九十九祭（槇の木学園・つくも幼児教室会場）に 今年も「けやき」のお店が出ました!!



数日前の天気予報ではマークも出ていましたが、当日は雨降らず、昼までは気温も高く、お陰さまでまずまずの天気にも恵まれました。

「けやき」のお店では、最近、充実してきた様々な「けやき」製品と、昨年引き続き東日本大震災復興支援のための、福島県産品販売や募金活動を行ないました。

<オープン前のお店の様子。なかなか商品も充実してきた！>

同時に、今年オープンした「けやきの小さな美術館」（本館 3 階一室）も自由にご覧いただけるよう開放しました。

けやきのお店には、お客さん以外に、学園年長児として在籍していた仲間やけやきを利用したことのある実習生さんなどが元気な様子で訪れてくれるなど、つながりも感じられた嬉しい一日にもなりました。

なお、当日売り上げた福島県産品販売での若干の黒字と募金は総額 5957 円となりました。今年の「けやき祭」での売り上げ&募金とともに、先日、募金させていただきました。ご協力ありがとうございました！



<ご覧の通り、なかなかの賑わいでした！>

～「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<ポニーランド（陸沢町）に行ってみた！>



…果たして、ポニーは私たちに興味津々でした。でも、皆は意外に物静かでした…。

～「けやき」ミニ・ギャラリー②～

<ヴィラ外房 ランチバイキングに行ってみた！>



豪華なメニューを前に、すでに満足顔！ 食事加工があるのでもう少し待ちます！



いただきます！
美味しい！ 美味しい!!

< 東日本大震災復興支援について >

東日本大震災から1年半以上が過ぎました。

復興にはお金がかかりますが、現地ではそのための公的な融資も「財源が足りない」と満足に受けられない一方で、そのために創設された「復興支援税」のずさんな用途が明るみになっています。また、相変わらず福島第一原発事故の収束はされず危険な状態が続いていること、そして福島周辺での放射線量が以前高いことなどから、決して少なくない人々がこの1年半を経てもなお、苦く辛い厳しい状況に置かれています。

同じ障害福祉分野での情報では、被害にあった福祉施設などの事業所に民間の団体の助成が一件当たり200万ぐらいされている話や、車両提供などの申し出などがあるという話がありますが、公的な助成の話はあまり情報として入ってきません。

また、こと福島周辺では放射能の影響で、避難した事業所職員がそのまま戻って来ることが出来ず、しかし利用者さんは避難もできずそこに住み続けており、事業所が求人をしても人が集まらない…という悪循環に陥っているという地域が少なくないようです。

1年半を経てもなお、大きく横たわる復旧や復興の見通しの悪さはあまりに厳しい。私たちは少なくとも、これまで同様、「東日本大震災被災者の人たちのことを忘れな

い」ということを続けて生きていきたいです。そして、この先は、なかでも同じ障害福祉分野で困っている仲間の存在を今まで以上に意識していく、という方向も併せ持っていくべきではないかと思っています。

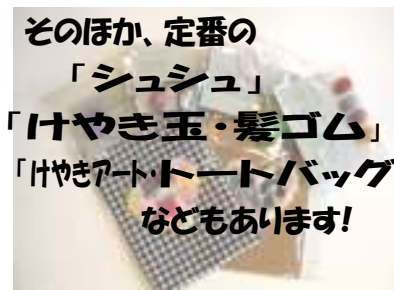
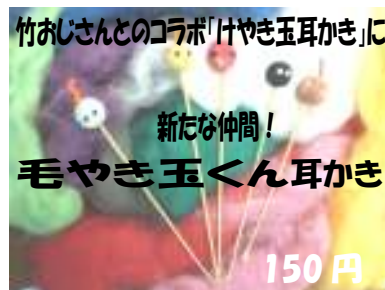
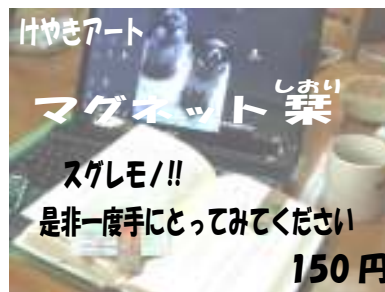
そんな気持ちを込めて、今年度のけやき祭と九十九祭で集めたお金を以下の通り募金いたしました。ありがとうございました。

今後とも細々と続けていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

けやき祭	売り上げ金&募金	13053 円
九十九祭	売り上げ金&募金	5957 円
合 計		19010 円

募金先: きょうされん自然災害支援基金 (口座番号: 郵便振替 00100-7-86225)

広告～「けやきオリヂナル製品」新作などのお知らせ～



11月・12月・1月の予定

11月19日(月)～; 健康チェック週間
11月23日(金); 一松工房・味噌祭り(休業日・勤労感謝の日)
11月30日(金); 休業日(職員研修のため)

12月4日(火); 避難訓練
12月17日(月)～; 健康チェック週間
12月21日(金); イベント日
12月24日(月); 休業日(天皇誕生日の振り替え休日)
12月27日(木); 年内活動最終日

12月28日(金)～1月6日(日); 冬季休業日
1月7日(月); 新年活動初日

編集後記 理想と現実の間はなかなか埋まらない。だから理想は理想で、現実には現実なのでしょう。それでも日々、埋める努力をし続ける以外に輝ける道はない!…と秋晴れの空を眺めた。(西)